

平成29年度補正予算輸出促進事業 中東(UAE)における展示会出展報告書

1. 概要 日時間：2018年12月8日(土)～14日(金)、5泊7日機中1泊  
 場所：アラブ首長国連邦(UAE・アブダビ)  
 展示会名：SIAL MIDDLE EAST2019(開催期間12/10-/12)  
 参加者：輸出者 (有)八治商店 (有)松和 (株)河久  
 生産者 静岡県温室農業協同組合  
 茨城県営業戦略部グローバル戦略  
 流通他 住友ベークライト(株) NAX JAPAN(株) 東京青果(株)輸出室

2. 内容

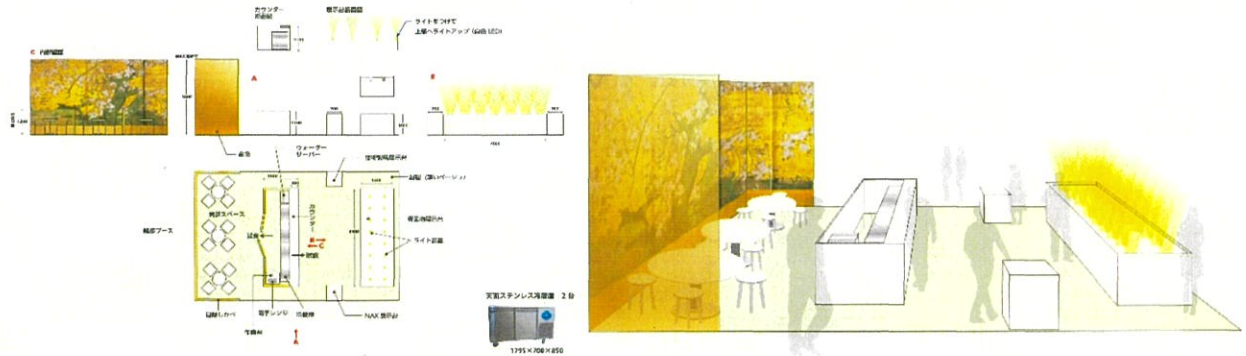
1) 展示ブース及び来場状況

ブース番号 面積：81㎡

構成 ①展示・陳列、②対面試食、③ミーティング、④技術・製品提案

特徴 構造物を出来る限り廃し、空間を広く見せながら奥に引き込む視覚効果技術を実施

使用機器 液晶モニター2機、電動スチーマー、電気ホットプレート、シンク、冷蔵庫2機



2) アブダビ展示品及び試食の評価

品種/産地	提供方法	評価
-------	------	----

サンふじ/青森		★★	
シナノゴールド/青森		★★★	表皮の美しさが人気
世界一/青森		★★★★★	りんご種で最人気、遺伝子操作作物と思われる。
富有柿/福岡		★★★★★	全品種で最人気、柔らかくても、皮ごとでもOK
市田柿/長野		★★★★★	これだけ輸入したいという客もいた。
シャインマスカット/長野		★★★	隣国エジプト、USAからブドウは多数輸入済
紫苑/岡山		★★★★★	皮ごと食べて、味がシャインより上とのこと。
スカイベリー/栃木		★★★★★	いちご全体で酸味が強く、本来の味からかけ離れていたが、いずれも高評価でさっぱりとした味わいが好まれた。
夢の香/長崎		★★★★★	
淡雪/佐賀		★★★	
あま王/福岡		★★	
にっこり/栃木		★★★	ルレクチェはすごい人気で食べると全員びっくりする。輸入洋梨はいずれも固く果汁が少ない。
ル・レクチェ/新潟		★★★★★	
アールスメロン/静岡		★★★★★	好評、クラウンでなくても充分評価される。
温州みかん/長崎		★★★★★	甘くて上手いと高評価
デコポン/熊本		★★★	味はOK。剥いただけで提供したのが失敗。
紅まどんな/愛媛		★★★★★	全員が高評価。外れがない。皆びっくりする。
高糖度トマト/静岡		★★★	ホテルシェフは驚愕
長芋（個方法）/青森	ステーキ、わさび醤油	★★★★★	全品種で最人気、色、形状が見たことがない。
シルクスweet/千葉	蒸し	★★★★★	甘い芋がないため、砂糖をいれたと勘違いする。
むらさきいも/茨城	“	★★★★★	フィリピン産に類似の色芋あるが、味は良い。

・最人気は長芋と富裕柿、次点はル・レクチェと紅まどんなだが全品種はずれがない。

特に長芋は白くて長い芋を見た者がいない。現地での料理を考慮してバターで焦げ目をつけて、最後にハラル認証のわさび醤油で味付けして出すと試食の手が停まらない。

柿は最初皮を剥いて出していたが、来場者の希望で皮ごと提供したがまったく問題ない。世界一、いちごは遺伝子操作作物ではないかという質問が絶えない。大きさと形、色つきの統一感のレベルが桁違いで信じられない様子。

また食味の違いか、シャインマスカットより紫苑が美味しいと試食した全員が評価した。

試験的に市田柿を機内持ち込みで輸出し、天然乾燥果物としてスライスカットして提供すると歯ごたえ、甘さが最高と評されたが、賞味期間が少し短いようである。乾燥ナツメヤシ

（ディーツ）を食事代わりに食べる食習慣があるアラブ人には食味がマッチしていると思われる。

### 3) ロジスティクス

- ・全量300kg/1PLT、航空便全品種混載（成田空港発アブダビ直行便、直行便12h）
- ・鮮度保持 アールスメロン全量 産地Pプラス包装  
その他全量 エチレン吸着剤（グリーンキーパー）を封入  
\*12/6販売の品が12/12最終日まで販売できるレベルで維持できました。
- ・展示会輸入指定通関業あり（アグリティ社）、輸出通関業者は西日本鉄道株
- ・商材確保は全量八治商店で手配。

### 3) 商談先および来訪者

- ① 展示会初日にUAEマンスール副首相が来訪し、在UAE日本国大使館藤木特命全権大使とともに

アテンドし日本産青果物を案内した内容が、翌日のUAE新聞及びWEBニュースに掲載された。副首相は日本のりんご（世界一）を事後試食され、側近に将来UAEでも日本のような農業生産が出来ればと豊富を述べられたと大使館より報告があった。



- ② 来場者見込約 2000 人（楊枝 3000 本 + 1600 本が全て無くなったことから推測）  
展示会開催者からは「日本ブースだけがゲームセンターのようだ」と好評された。
- ③ 名刺交換枚数約 100 枚
- ④ 今後輸出先として有望企業

国名	企業名	企業概要
UAE	GCCグループ/アブダビ	食品加工・外食チェーングループ
	AGSS社/ドバイ	日本食材取扱い専門店
	BARAKAT/ドバイ	成果専門輸入卸、青果加工
	White Owl/アブダビ	ベーカリーチェーン
	ETIHAD AIRWAYS	航空会社
バーレーン	A&D Trading	輸入卸、供給
クウェート	KUWAIT HOLDING	輸入卸
カタール	FRUIT LINE	輸入卸、供給、加工、売場受託



### 3. 総括

海外展示会に出展経験のない複数輸出業者と生産地を引率して行う事業であったが、参加した全社が

参加に満足しており、機会があればまた出展し新規取引先の開拓に意欲を持って帰国した。

2016年にも別事業で同展示会に出展したが、今回はその時よりも来場者の反応が良く、よりニーズが拡大していると感じられた。但し、人口構成から想定以上に富裕層は限定され消費行動も異なるため、通常モダントレードを軸にスーパー等へのチャネル開発を進めるが、中東諸国に関してはもっと柔軟に幅広い視野でチャネル開発や販促活動をすべきと思われた。なぜなら食生活・食習慣・商習慣がアジアと異なるため、それまでの経験と想定を超えたニーズが埋もれているためだ。今回の展示会試食提供を通してそのことを強く感じた。

とかく中東は土地柄ビジネス投資家が多く、今回も多くの来場者が投資したい、独占的取引契約をしたいと唱えるが、我々は初めての取引先を探しに来た目的を明確に示し商談した。また輸入生鮮の取扱いは日常茶飯事なのでコールドチェーンも整っており、鮮度・品質にもうるさいということも実感できた。

ついでには、遠距離であるため航空貨物に限定されるが、日本の保有する鮮度保持の技術を活用することで、輸入先国のニーズに合わせた多品種・小ロットで付加価値の高い輸出を促すことで充分拡大して行くマーケットであるということが判断できた。

課題としては、UAEを除いた諸国での輸入側の輸入ライセンスがクリアできることであり、総ボリュームは小さくても、UAEから他のGCC諸国への2次輸出には関税がかからない為、UAEを軸に着実に輸出が拡大すると思われる。

以上